

平成 29 年度予算 予算編成過程の公表について

～各部予算要求状況の公表～

- 大田区では、区民への説明責任を果たし、また区政参画などを促すとともに、予算編成の質の向上を図るため、平成 27 年度予算編成から予算編成過程の公表に取り組んでいます。
- 平成 29 年度予算について、平成 28 年 9 月 30 日時点の各部の予算要求状況等を公表します。

1 平成 29 年度予算編成の基本方針

- 平成 29 年度は、「おおた未来プラン 10 年（後期）」に掲げる目標達成に向け、着実に事業を推進するとともに、「(仮称) 大田区実施計画」に基づく新たな取り組みを開始する重要な年となります。そのため、平成 29 年度の予算編成においては、「暮らしてよし、訪れてよし、地域力あふれる 国際都市おおた」の実現に向けた取り組みを進めるとともに、さらなる未来に向け、力強い一歩を踏み出すために、次の重点課題に特に優先的に取り組むことといたしました。
 - ① 未来を拓く子どもたちや若者の成長を支える取り組み
 - ② 誰もが健康で、いきいきと活躍できるまちづくり
 - ③ 災害に強く、安全で安心な生活基盤の確立
 - ④ 地域の資源と強みを活かし、国際都市おおたの成長を牽引する取り組み
- 「平成 29 年度 予算編成、組織・職員定数の基本方針（通知）」については、http://www.city.ota.tokyo.jp/kuseijoho/suuij/yosan_kessan/yosan/29yosan/29yosan_houshin.html（大田区ホームページ）をご参照ください。

2 予算編成の流れ

大田区の予算編成は、次の手順で行われます。

内 容	時 期
<p align="center">■重要事業区長ヒアリング■</p> <p>平成29年度予算の編成に向けて、区長が指定する重要事業について、区長が各部長にヒアリングし、方向性の確認を行います。</p>	7月
<p align="center">■平成29年度予算編成の「基本方針」(副区長通知)■</p> <p>平成29年度の予算を作るための考え方を示した「基本方針」が副区長より示されます。</p>	7月下旬
<p align="center">■各部における予算編成・予算要求■</p> <p>副区長通知に基づき、各部が新年度の実施事業等の必要な経費を見積もり、その内容や金額を予算を担当する企画経営部へ提出(予算要求)します。</p>	8月～9月
<p align="center">■企画経営部内での調整■</p> <p>予算要求のあった事業内容について、「選択と集中」の視点から必要性・緊急性、経費の妥当性等を検討し、各部と調整します。</p>	10月～11月
<p align="center">■企画経営部長査定■</p> <p>各部長より平成29年度の予算編成方針及び要求内容を説明し、企画経営部長による査定を受けます。</p>	11月
<p align="center">■区長査定■</p> <p>各部長より平成29年度の予算編成方針及び要求内容を説明し、区長による査定を受け、予算の調製を行います。</p>	12月
<p align="center">■予算原案の内示■</p> <p>区長査定を経て、各部へ平成29年度の予算内示を行います。</p>	1月
<p align="center">■追加・再要求■ ⇒ ■予算(案)確定■</p> <p>予算原案内示後に、各部から追加・再要求がある事業の予算査定を行い、平成29年度予算(案)を確定します。</p>	1月
<p align="center">■予算(案)の発表■</p> <p>予算(案)の内容を、区民の皆さまへ公表します。</p>	2月
<p align="center">■予算(案)区議会審議・議決■</p> <p>予算(案)は区議会に提出され、審議・議決されて成立します。</p>	3月

■施策評価の実施■

「大田区行政評価に関する基本方針」に基づき、全施策について評価を行い、その内容を施策の見直しや新年度予算に反映します。

3 平成29年度予算要求状況（平成28年9月30日時点）

（1）総括

《全会計》

- 平成29年度各部予算要求の規模は、一般会計2,616億円、特別会計1,540億円であり、総額は4,156億円となっています。

<会計別予算要求額>

（単位：億円、%）

	平成29年度 当初要求額	平成28年度 当初予算額	増（△）減	
			金額	増減率
一般会計	2,616	2,574	42	1.6
特別会計	1,540	1,494	46	3.1
国民健康保険事業	845	836	9	1.1
後期高齢者医療	149	148	0	0.3
介護保険	547	510	37	7.2
全会計合計	4,156	4,067	88	2.2

※表示単位未満を四捨五入しているため、合計等と一致しない場合がある。

《一般会計》

- 一般会計予算の平成29年度歳出要求額は2,616億円、28年度当初予算額に比べ42億円、1.6%の増となっています。

<一般会計>

（単位：億円、%）

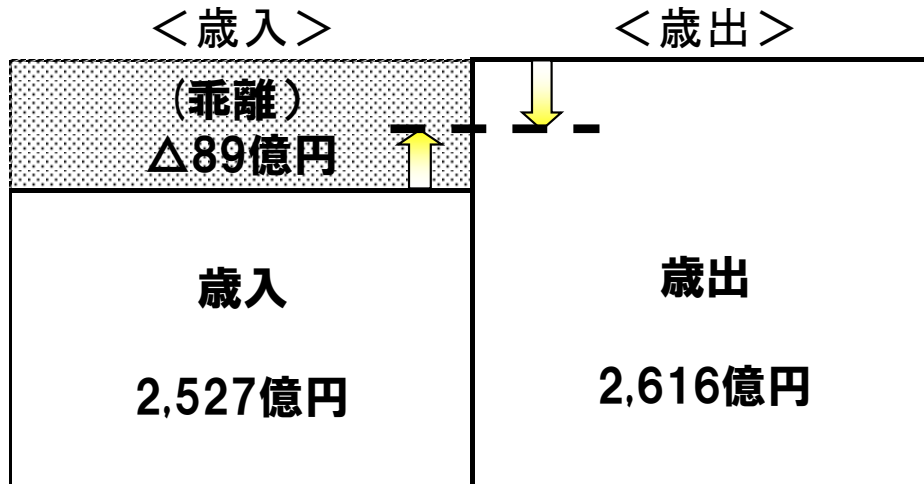
	平成29年度 当初要求額	平成28年度 当初予算額	増減額	増減率
歳入 A	2,527	2,574	△ 47	△ 1.8
歳出 B	2,616	2,574	42	1.6
財源不足額 C = A - B	△ 89	—		

※平成29年度当初要求額について、歳入においては、財政基金繰入金は計上していないが、減債基金繰入金20億円、公共施設整備資金積立基金繰入金37億円及び特別区債40億円は計上している。

※表示単位未満を四捨五入しているため、合計等と一致しない場合がある。

《歳入・歳出の乖離（一般会計）》

- 各部要求時点での財源不足額（歳入－歳出）は、下記の図のとおり 89 億円となっています。



- 財源不足額の解消について、歳出においては「選択と集中」の視点から必要性・緊急性、経費の妥当性を検討し、査定を経て、必要に応じて歳出額の圧縮等を行います。
- 歳入においては、直近の景気動向を把握し、基幹財源である特別区税や特別区交付金等を的確に予算へ反映させます。
- 上記を踏まえ、財政基金からの繰入額や特別区債の発行額等を確定させます。

(2) 歳入 (款別)

(単位：百万円、%)

款		平成29年度 当初要求額	平成28年度 当初予算額	増減	
				増減額	増減率
1	特別区税	69,950	69,337	613	0.9
2	地方譲与税	1,781	1,763	18	1.0
3	利子割交付金	389	391	△2	△0.5
4	配当割交付金	2,159	2,131	28	1.3
5	株式等譲渡所得割交付金	1,274	1,258	16	1.3
6	地方消費税交付金	15,878	15,551	327	2.1
7	自動車取得税交付金	483	477	6	1.3
8	地方特例交付金	390	390	0	0.0
9	特別区交付金	69,169	68,949	220	0.3
10	交通安全対策特別交付金	80	80	0	0.0
11	分担金及び負担金	3,907	3,663	244	6.7
12	使用料及び手数料	7,327	7,186	141	2.0
13	国庫支出金	46,268	46,729	△460	△1.0
14	都支出金	16,107	15,584	523	3.4
15	財産収入	331	391	△60	△15.5
16	寄附金	326	285	41	14.5
17	繰入金	5,749	11,698	△5,949	△50.9
18	繰越金	2,000	2,000	0	0.0
19	諸収入	5,114	5,502	△388	△7.1
20	特別区債	4,000	4,000	0	0.0
合計		252,682	257,364	△4,682	△1.8

※表示単位未満を四捨五入しているため、合計等と一致しない場合がある。

(3) 歳出 (款別)

(単位：百万円、%)

款		平成29年度 当初要求額	平成28年度 当初予算額	増減	
				増減額	増減率
1	議 会 費	1,113	1,121	△ 9	△0.8
2	総 務 費	36,889	36,708	182	0.5
3	福 祉 費	145,215	140,943	4,272	3.0
4	衛 生 費	9,293	8,202	1,091	13.3
5	産 業 経 済 費	3,761	3,784	△ 24	△0.6
6	土 木 費	18,903	20,030	△ 1,128	△5.6
7	都 市 整 備 費	5,881	6,575	△ 694	△10.6
8	環 境 清 掃 費	10,173	9,373	800	8.5
9	教 育 費	25,314	24,458	857	3.5
10	公 債 費	4,297	5,371	△ 1,074	△20.0
11	諸 支 出 金	447	499	△ 52	△10.5
12	予 備 費	300	300	0	0.0
合 計		261,585	257,364	4,221	1.6

※表示単位未満を四捨五入しているため、合計等と一致しない場合がある。

(4) 歳出 (部別)

(単位：百万円、%)

部 名	平成29年度 当初要求額	平成28年度 当初予算額	増減	
			増減額	増減率
企 画 経 営 部	7,515	9,436	△ 1,920	△20.4
総 務 部	50,192	49,648	544	1.1
地 域 力 推 進 部	3,476	3,040	436	14.3
観 光 ・ 国 際 都 市 部	3,188	3,457	△ 269	△7.8
区 民 部	18,959	18,641	318	1.7
産 業 経 済 部	3,444	3,455	△ 11	△0.3
福 祉 部	70,429	69,798	631	0.9
健 康 政 策 部	7,596	6,585	1,011	15.3
こ ど も 家 庭 部	43,206	39,272	3,934	10.0
ま ち づ ぐ り 推 進 部	3,327	4,237	△ 910	△21.5
空 港 ま ち づ ぐ り 本 部	84	57	27	48.1
都 市 基 盤 整 備 部	18,134	19,682	△ 1,548	△7.9
環 境 清 掃 部	7,331	6,399	932	14.6
会 計 管 理 室	67	81	△ 14	△17.0
教 育 総 務 部	23,430	22,344	1,086	4.9
選 挙 管 理 委 員 会	240	254	△ 14	△5.6
監 査 事 務 局	13	13	0	0.5
議 会 事 務 局	955	967	△ 12	△1.2
合 計	261,585	257,364	4,221	1.6

※表示単位未満を四捨五入しているため、合計等と一致しない場合がある。

4 各部からの予算要求状況

- 公表対象事業は、一般会計における未来プラン事業、新規、レベルアップ、重点課題、(仮称)大田区実施計画に該当する事業としています。
- 今回は、平成28年9月30日時点の各部からの予算要求状況を公表します。なお、企画経営部長査定、区長査定(予算額)の経過の公表については、平成29年2月中旬を予定しています。

《資料の見方》

(単位:千円)

担当部	事業名	予算要求内容	当初要求額	企画経営部長 査定	区長査定 (予算額)	査定 区分	平成28年度 当初予算額	増減
〇〇部	〇△×□事業	〇〇〇〇〇	〇〇				△△	××

各部から企画経営部に提出された、当初要求額を記載しています。

企画経営部長査定後及び区長査定後の金額を記載します。
※現段階では、空白となっています。

査定理由を4つの類型に分けて記載します。
※現段階では、空白となっています。

※査定区分は、以下の4つに類型します。

査定理由	
査定区分	理由
A	要求どおり
B	積算内容精査 (事業内容は認めるが、過去の実績等を踏まえ、単価・数量・回数・箇所数などを精査したもの)
C	事業内容精査 (事業手法や実施時期等を検証・調整するなど事業内容を精査したもの)
D	要求を認めなかったもの、一部認めなかったもの (事業の再精査等が必要なため、実施を先送りしたものなど)